

2021年度 四国大学 光アートスクール講座計画

テーマ1 光アートビジネスの可能性を探る

デザインによる創造力開発	講座名	光アートビジネス論
大野宏之（四国大学経営情報学部経営情報学科准教授）	担当教員	大野宏之（四国大学経営情報学部経営情報学科准教授）
2021/8/25(水)、9/1(水)、9/8(水) 各日10:40～12:20 全てZOOMによるオンラインで実施	開催日程	2021/11/2(火)、11/9(火)、11/16(火)、11/30(火) 各日18:30～20:30
オンライン	開催場所	四国大学交流プラザ
20名程度	定員	15名程度
ビジネス界でデザインという言葉が多用され、芸術系大学も社会人向けのデザイン経営を学ぶ講座を開設しています。そのような状況の中でデザインについて考えるきっかけを作ります。	概略	「デザインによる創造力開発」をさらに深化させ、デザイン思考をビジネスの現場で展開できることを目指します。
<p>●第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体ガイダンス 今という時代について（講義） ・なぜ今デザインか（講義） ・次回までの課題出題 参考図書紹介 <p>●第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発表・そもそもデザインとは（講義） ・論理的アプローチ（課題） 次回までの課題出題 <p>●第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発表・思考的アプローチ（講義） ・プロトタイピング（講義） ・演習 <p>【最終課題としてアイデアを図や文章で表現したA4ペーパーと、参考図書1冊についてのコメントと合わせて9/17までにメールで提出】</p>	講座詳細	<p>●第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体ガイダンス・今という時代について（講義） ・なぜ今デザインか（講義） 次回までの課題出題 ・参考図書紹介（紹介する本などから1～3冊を選び講座最終回にA4 2枚程度にまとめ提出） <p>●第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発表・そもそもデザインとは（講義） ・論理的アプローチ（講義） 次回までの課題出題 <p>●第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発表・思考的アプローチ（講義） ・プロトタイピング（講義） 次回までの課題出題（第4回ではチーム演習を行います） <p>●第4回</p> <ul style="list-style-type: none"> プロトタイピング演習 ・チーム単位でのプレゼン ・まとめ

テーマ2 光アートの要素技術を識る

AR・VR活用実践講座	講座名	プロジェクションデザイン（光る特産品）
辻岡 卓（四国大学経営情報学部メディア情報学科准教授）	担当教員	上野 昇（四国大学生生活科学部人間生活科学科准教授）
2021/7/26(月)13:30～14:30、8/10(火)13:30～15:30、8月下旬以降の13:30～14:30	開催日程	2021/9/25(土)、26(日)各日14:40～17:50（2日間の集中講座）
第1回オンライン、第2、3回（公財）とくしま産業振興機構研修室	開催場所	四国大学古川キャンパスD405
第1回 50名程度 第2、3回 10名	定員	20名
オンライン展示会やリモート商談に向け、ARやVR技術により製品情報を3次元で発信する方法を学びます。【（公財）とくしま産業振興機構連携講座】	概略	特産品等の商品ディスプレイを卓上プロジェクションマッピングで演出します。
<p>●第1回 基礎理論と実践例【ZOOMで実施】</p> <ol style="list-style-type: none"> VRの技術的背景 VRの業界動向・市場規模・今後の見通し 各業界における応用可能性 <p>●第2回 3Dモデル作成方法</p> <p>3DF Zephyrフォトグラメトリ体験版により講師が準備した画像等を用いて簡易な3D制作体験を行います。</p> <p>●第3回 効果的発信方法</p> <p>AR・VRコンテンツの効果的な発信方法について学びます。</p>	講座詳細	<p>●第1回：オリエンテーション（90分）</p> <p>●第2回：卓上PMの基本操作（90分）</p> <p>PowerPointを使用して立方体にPMを投影しながら、色、線、文字等のアニメーションをマスターする。</p> <p>●第3回：卓上PM（実践編）（90分）</p> <p>各自の演出したい特産品にPM演出をおこなう。</p> <p>●第4回：卓上PM（実践編）（90分）</p> <p>特産品にPM演出を仕上げていく。</p> <p>※各作品は、展示や動画撮影して公開します。</p>
AI数理データサイエンス入門セミナー	講座名	AI技術の活用
長沼次郎（四国大学経営情報学部メディア情報学科教授）	担当教員	長沼次郎（四国大学経営情報学部メディア情報学科教授） 細川康輝（四国大学経営情報学部メディア情報学科准教授）
2021/9/4(土) 14:00～16:00	開催日程	2021/9/18(土)、19(日) 各日9:00～16:10（2日間の集中講座）
四国大学交流プラザ5階フォーラムホール	開催場所	四国大学古川キャンパスU209
50名	定員	20名
徳島大学の泓田正雄（ふけた・まさお）教授から「自然言語処理とテキストマイニングの基本技術」と題して講演をいただきます。 自然言語処理とは、我々が普段書いたり話したりする日本語や英語などをコンピュータで処理する技術です。普段利用しているWeb検索、かな漢字変換、対話システムなどにも自然言語処理技術が用いられています。また文章中から重要な情報を抽出するテキストマイニング（テキストアナリティクス）でも、さまざまな自然言語処理技術が使用されています。近年の機械学習の発展やディープラーニングの登場により、これらの技術は急速に発展しています。今回は、この自然言語処理やテキストマイニングで使用されている基本技術の説明と、その応用について紹介いたします。	講座詳細	<p>●第1回：プログラム実行環境について（90分）</p> <p>本講座で用いる機械学習ライブラリTensorFlowとその実行に用いられるプログラム言語Pythonについて紹介し、プログラミングに必要なCUIでのファイル操作、テキストエディタの利用、プログラムの実行を体験する。</p> <p>●第2回：Pythonプログラミング（90分）</p> <p>Pythonの基本的なプログラム方法と、TensorFlowを利用するために必要なPythonの知識について学ぶ。</p> <p>●第3回：TensorFlowを活用した画像分類プログラム（90分）</p> <p>TensorFlowの公式ページにあるチュートリアルを実行し、画像分類でのTensorFlowのプログラミングを学ぶ。</p> <p>●第4回：画像分類プログラムの画像データについて（90分）</p> <p>画像分類プログラムに用いられている画像ファイルの扱いについて学ぶ。</p> <p>●第5回：独自画像の部類プログラム（90分）</p> <p>独自に用意した画像を分類するための方法を学ぶ。</p> <p>●第6回：画像処理プログラム（90分）</p> <p>画像処理ライブラリであるOpenCVによるカメラ画像の取得と分類プログラムに必要な加工について学ぶ。</p> <p>●第7回：GUIプログラム（90分）</p> <p>カメラ画像の表示、結果の閲覧などを表示するアプリケーションの作成に必要なGUIプログラムの基礎を学ぶ。</p> <p>●第8回：画像分類プログラムの可能性をまとめよう（90分）</p> <p>様々な分類課題に対して本講座で学んだ知識技術を応用する方法をまとめる。</p>
プログラミング入門講座	講座名	
立石朝春（四国大学 徳島光・アート教育人材育成事業実施本部）	担当教員	
2021/9/12(日) 14:00～17:00	開催日程	
四国大学古川キャンパス	開催場所	
20名	定員	
9/18・19開催「AI技術の活用講座」に先立ち、講座で使用するプログラミング言語「Python」を経験していただく講座です。	講座詳細	